

Q1. マイクロマシン/MEMS分野の最新情報を入手したい。
また、世界や日本のマイクロマシン/MEMS分野の動向を知りたい。

1. MMCでは、ワールドワイドで、マイクロマシン/MEMS分野における最先端の情報収集活動を行っており、加えて、毎年、直接、海外主要機関や企業に出向き、産業動向の調査を行っています。また、国内においても、毎年、産業動向や市場動向に関する調査を実施しています。(国内外技術動向・産業動向の年度報告書)
2. MMC賛助会員やMEMS協議会の正メンバーとアソシエート(企業・団体)メンバーは、毎年度の調査が取りまとまった時点で、最新情報を入手できることとなっていますので、まだ会員/メンバーになっていない方は、ぜひ、会員/メンバーとなっただけであれば幸いです。
3. なお、会員/メンバーになりますと、無償でMMCホームページから直接最新情報が入手できます。(現在のところ、一般の方にはこの形での公開を考えておりません。)
4. また、MMCでは、毎年、MEMS協議会のアフィリエイトである国内外のマイクロナノ関連団体、研究機関とのネットワークを活用して、情報交換等を行っています。その他、毎年、国際マイクロマシンサミットへの参加(ご希望があれば、会員の皆さんの同行が可能です。)や、海外へのミッション(調査団)派遣やそこでの研究者との意見交換を行っています。
ぜひ、このような活動にご参加いただき、世界や日本のマイクロマシン/MEMS分野の動向を肌身で感じていただいて、御社の分野にかかる産業・技術動向を迅速かつ正確に把握していただければ幸いです。

Q2. 業界の一員として、MMCや国など公的機関にやってほしいことを提言したい。また、MMC委員会に参加して業界全体の発展や自社にメリットのある形で活動したい。また、関係海外機関や企業を訪問し、そこで有益な意見交換を行いたい。

1. MMC/一般賛助会員・特別賛助会員及びMEMS協議会正メンバーとなっ頂き、MEMS協議会推進委員会、MEMS懇話会及びメンバー交流会などを通じて、国等の公的機関にご意見やご提言を述べて頂くことができます。
2. また、委員会活動(MMCパンフ参照)を通じて、真に業界及び御社のために必要な活動に参加することもできます。(委員就任には内部手続が必要となります。)
3. 関係海外機関・企業等への視察(ミッション)や情報交換については、Q1の4.をご参照ください。

Q3. 協働できる大学、研究機関や同業他社など、関係業界等と意見交換したい。

1. MMC/賛助会員及びMEMS協議会メンバーとなっ頂き、メンバー交流会での交流や、

HP上に掲載されたMEMS協議会アフィリエイト(公設試、地域クラスター、学会、大学研究室、研究機関、海外MEMS関連団体・研究機関)との交流を通じて、意見交換することができます。

2. これらの交流の場の事前連絡は、次問のマイクロナノネット、情報配信しています。

Q4. マイクロマシン/MEMS分野の情報をネットで共有したい。

1. 当センターでは、「マイクロナノネット」で、情報配信・交流を行っています。これは、MMC/MEMS 協議会その他の関係者の方々、すなわちマイクロナノ分野の産学官の多くの方がネット上で集う場です。

情報配信・交流には、メーリングリスト(ML) micronano@mmc.or.jp が用いられます。

MMC やMEMS協議会からは、ニュースレター、MicroNano Monthlyの形で最新情報を配信しています。またマイクロナノネット登録者の方は誰でも投稿できますので、それぞれのイベント案内や産学連携活動紹介、インターンシップ情報の提供、各種連絡等について、会員/メンバーで自由にご利用いただいて、情報交流の場として頂けます。

Q5. マイクロナノ分野において、世界市場に展開できる製品開発・販売のために、当該分野の標準化活動に参加したい。

1. 優れた技術であっても、国際標準化に失敗すれば世界的な市場の獲得に支障が生じ、事業として展開を図ることが困難となる場合があります。こうした事態を未然に防ぐためには、研究開発初期の段階から戦略的な国際標準の獲得を経営戦略上の目的を達成するための重要な手段の一つとして明確に位置づけ、**研究開発と標準化の一体的推進を図っていく必要があります。**

2. このため、当センターでは、マイクロナノ分野における国際標準規格づくりに先導的に取り組んできました。

これまで、国際規格化のための検討、研究開発、ロードマップの策定、関係国との標準化ワークショップの開催等の活動を活発に行ってきています。

3. ぜひ、この機会に会員となっただき、世界市場を視点に入れた製品開発と併せて御社にメリットのある形での当該技術分野の標準化活動に参加して頂ければ幸いです。

(わが国はIEC(International Electrotechnical Commission:国際電気標準会議)におけるMEMS分野の標準化の幹事国を務めており、当センターは技術分科会SC47Fの国内審議団体と国際幹事を引き受けています。)

Q6. MNOICの活用方法について、アドバイスも含め、きめ細かく相談に乗ってほしい。



1. MNOICの利用形態は、Myラボ、Myファブ、産学協同研究及び人材養成(育成)など多岐にわたります。
そのため、真に御社のためになる活用方法を探るためには、MNOIC担当ときめ細かな相談が不可欠です。また、会員/メンバーには利用特典もありますので、詳細は、MNOIC担当とご相談ください。
2. いずれにしても、会員/メンバーとなっただけであれば、アドバイスも含め、よりきめ細かく事前相談等への対応ができますので、ご検討いただければ幸いです。

(注) なお、費用面については、MEMS協議会アソシエートメンバーの「企業・団体」メンバーも、「中小・ベンチャー」メンバーも、同じ優遇措置を適用。

Q7. ファンドリーサービスの活用について、よりきめ細かく相談したい。

ファンドリーサービスについては、MEMS 協議会の下で運営する MEMS ファンドリーサービス(MEMS 設計・試作・製造の受託サービス)で行っています。

ファンドリーサービスを活用することにより、製造設備を有しない企業でも容易にMEMSビジネスに参入できるようになりますので、会員/メンバーとなっただけであれば、よりきめ細かいサービスをご利用下さい。

また、会員/メンバーは、ファンドリーサービスの一環として実施しております「MEMS講習会」にも安価でご参加できますので、ご検討いただければ幸いです。

(一例として、参加費が2,000円offとなるなど)

Q8. MemsONE活用にかかる会員/メンバー向けのサービス如何。

会員/メンバーには、無償でMemsONEの使用方法等の相談に応じています。

Q9. 展示会やMEMS講習会、先端技術交流会等各種講習会及びMNOIC実習セミナーに安価で参加したい。

1. 上記については会員/メンバーには優待制度があります。

開催案内等に、その旨記載されていますので、会員/メンバーになっていただき、案内に従って優待制度をご利用ください。



[メンバー区分による特典内容]

特典内容	member	associate		MEMS fellow
	正メンバー	(企業)	(中小・団体)	(個人)
■MEMS 懇話会、研究会活動、海外ミッション等の活動に参画できる	○	—	—	—
■マイクロナノネットへの参加 *ニュースレター配信・ネット交流	○	○	○	○
■展示会の出展料割引 1コマ当たり 約2万円	コマ数制限なし	コマ数制限なし	定額2万円 off	—
■先端技術交流会の参加料割引 1名当たり 4千円 off	人数制限なし	人数制限なし	人数制限なし	○
■MEMS 講習会の参加料割引 1名当たり 2千円 off	人数制限なし	人数制限なし	人数制限なし	○
年会費	100万円	30/20万円	5万円	5千円

Q10. MMC賛助会員とMEMS協議会メンバー(会員)はどこが違うのか。

1. MMC賛助会員は、MMCが行う調査研究を初めとする事業活動に賛同して頂き、賛助会員となって、事業活動の支援や事業成果を優先的に利用できる会員です。
一方、MEMS協議会は、MMC活動のひとつであるMEMS協議会活動に限って、その活動にご参加頂くこととなります。
2. しかしながら、この2つは連携しており、MMCの特別賛助会員とMEMS協議会正メンバーは「会員区分・特典表」では同色(青)で示されているとおり、同じ特典を受けられます。また同時に、MMCの情報賛助会員とMEMS協議会のアソシエートメンバー(企業・団体)も、「会員区分・特典表」では同色(ベージュ)で示されているとおり、同じ特典を受けられます。(ここにおいて、どちらかの資格を付与されますと、他の一方の資格も付与されます。)

特典の違いにつきましては、パンフの「会員区分・特典表」を御覧下さい。

Q11. 会員/メンバーの申込方法如何。また、入会からすぐ、活動できるのか。
そのほか、会費はどのような方法で支払うのか。

1. 申込方法

MMCの賛助会員申込 MMCのHP (<http://www.mmc.or.jp/gaiyou/kaiin/>)
MEMS協議会メンバー申込 MEMS協議会のHP (<http://www.mmc.or.jp/mif/>)

上記に照会先及び申込方法が記載されていますのでご参照ください。(申込書用紙含む)

2. 入会手続・通知及びその後の活動

入会申込後、事務局で会員にふさわしいか審査させて頂いた後、MMC賛助会員にあっては、理事会で正式に入会を審議・了承して、会員番号を含め入会(了解の)通知をさせていただきます。ただし、入会後の活動に関しては、理事会開催前においても、仮資格ということで、会員と同様に活動を行うことができます。

MEMS協議会においては、事務局でメンバーにふさわしいか審査させて頂いた後、MEMS協議会メンバーとして正式に入会を了承して、会員番号を含め入会(了解の)通知をさせていただきます。また、入会後からすぐに活動ができます。

3. 会費納入方法

MMC: 原則として毎事業年度の10月末及び3月末までに、それぞれ会費の2分の1を納入します。毎回、事務局から支払通知を発送させていただきますので期日までに納入する

こととなります。

MEMS協議会：原則として毎事業年度の10月末に一括で納入します。毎回、事務局から支払通知を発送させていただきますので期日までに納入することとなります。

(注)途中入会については、上記に準じて、入会時に会費を支払うこととなります。

Q12. 中小企業ですが、MMC賛助会員やMEMS協議会メンバーとなるのに、どの区分を選択すればよいでしょうか。

1. 中小企業であっても、基本的に会員／メンバーになっていただくことに制約はありません。ただし、MEMS協議会・アソシエートメンバーに「中小・ベンチャー」の区分がありますが、これは展示会や講習会などの優遇措置中心に特典が限られることとなっています。(年会費が5万円と低額)
2. このため、会員／メンバーの主活動である委員会活動、情報提供、MEMS協議会のコア活動には参加できませんので、これらの活動を希望される方につきましては、MMC／一般・特別・情報、MEMS協議会／正メンバー(会費100万円等)・アソシエートメンバー(企業・団体)(企業30万円・団体20万円)の区分でご入会されることをお勧めします。

以上